



資料館だより

No.26
2009年
9月号

過去と未来がひびきあう

ようこそ、エコミューズへ

www.aozora.or.jp/shiryou/

あおぞら
財団付属

西淀川・公害と環境資料館

エコミューズ

見て、聞いて、感じた3日間 学生、社会人など45人が参加した イタイタイ病スタディツアー

今年度から3か年の計画で、「公害地域の今を伝えるスタディツアー」という事業がスタートしました。西淀川区もそうですが、四日市や水俣、富山など、公害の被害



清流会館で講義

を受けた地域が、再生に向けて活動をしています。でも、私たちは、実際にどのような再生活動がおこなわれているのか、よくわかっておらず、今では公害の事実も風化しつつあるのが現状です。



土壌復元現場を視察

そこで、現場に行き、さまざまな立場の人たちの話を聞き、自分たちなりに、公害地域の今をとらえ、そのことを広く発信していこうと、スタディツアーを企画しました。1年目はイタイタイ病の問題がおこった富山です。富山では被害者団体と公害の原因企業が、毎年の立入調査などを通じて、汚染「ゼロ」をめざした取り組みを重ねています。(本紙裏面「もりもとまきのアーキビストの目」でもイタイタイ病を取り上げています。)

参加者は全国から応募があり、総勢45人で8月4日～6日の3日間ツアーを実施しました。班に分かれて、被害者家族、企業、行政などに聞き取りをおこない、最終日は、班ごとに発表をおこないました。聞いたことを報告するとともに、今後への提案も盛り込みました。参加者からは「公害を発生させる前の予防の重要さがわかった」などの感想がありました。スタディツアーの現地での運営は、イタイタイ病対策協議会の高木勲寛さんに全面的にお願いしました。最後に、高木さんから「受け入れて良かった」とのお言葉をいただき、参加者、スタッフ一同、本当にうれしく思いました。

本事業は(独法)環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けています。

ただいま エコミューズの要は資料整理。
資料整理中 現場から生の声をお届けします。

二千人が決意を固めた府民大集会

田尻悠太 (資料整理スタッフ)

関西共同印刷所から西淀川公害患者の会に返却され、その後エコミューズに寄贈された写真類の整理が完了しました。これらは1988年6月発行のパンフレット「きれいな空気と生きる権利を求めて」に使用するための写真で、1980年代の西淀川の写真を中心として、カネミ油症訴訟の写真も含まれています。その一部をご紹介します。



パンフレット表紙



「府民大集会」中之島中央公会堂 (1988年3月18日)

1988年3月18日、中之島中央公会堂で西淀川公害の早期結審を目指す「府民大集会」が開催されました。この年は1978年の第一次訴訟開始からちょうど十年の節目にあたります。この間に公害規制の緩和、公害指定地域の解除など、公害の終了宣言が政府から次々と発せられました。地方への公共事業投資の高まりやバブル景気など、世の中が公害問題から遠ざかるうとするなかで、それに立ち向かうという強い決意が写真には込められています。

この間に公害規制の緩和、公害指定地域の解除など、公害の終了宣言が政府から次々と発せられました。地方への公共事業投資の高まりやバブル景気など、世の中が公害問題から遠ざかるうとするなかで、それに立ち向かうという強い決意が写真には込められています。

目録作成にあたって、森脇君雄さん(西淀川公害患者と家族の会 会長)から写真についてのお話をうかがいました。とくに集会のフィナーレ、原告団の決意表明のシーンでは、壇上に上がっているほとんどの方の所属やお名前が判明し、西は水俣病、カネミ油症、東は東京大気汚染、イタイタイ病など、全国津々浦々の公害関係の方が応援にきてくれたことがわかりました。

もりもとまきの アーキビストの目 所蔵資料紹介



「イタイイタイ病」を知る 清流への願い新たに

エコムーズでは、全国各地の公害に関するさまざまな資料を所蔵しています。今回は、『イタイイタイ病』第32号(イタイイタイ病対策協議会発行、1975年1月)を紹介いたします。

イタイイタイ病(イ病)とは、三井金属神岡鉱業所(現 神岡鉱業株)から長年神通川(じんづうがわ)に流された、カドミウムを含む鉱廃水による公害病です。



病の苦しみ、土壌復元への願いが溢れる患者の多くは中高年の女性で、腎障害の悪化による骨の異常に、痛い痛い」と苦しみました。土壌汚染による農業被害も深刻でした。紙面では、一人の女性患者の声が紹介されています

の体は毛頭昔のように治らないでせう 私は我慢します。しかしこれからの若い人だけには絶対にイタイイタイ病にならないようにして下さい。田んぼの復元工事が出来て、安心して米が作られ、イ病の心配がなくなる日が一日も早くくることを心から願っています。イ病訴訟完全勝利(1972年8月)から37年の月日が経った現在、土壌復元事業は2011年度完了予定となり、このような被害が二度と繰り返されないよう公設資料館の建設も目指されています。

この女性の悲痛な願いを、決して忘れてはならない、神通川の清流を前に、その思いを新たにさせられる貴重な資料です。

私 プログ版 <http://aozorabsw.exblog.jp/i11/>
アーキビストとは、文書や資料の収集・整理・保存に関わる専門家のことです。

シンポジウム 地域資料の保存と活用を考える(第3回) 大阪の文書館をめぐる現状と地域資料保存・活用の課題

昨今の大阪における文書館をめぐる状況は厳しさを増しています。こうした現状をふまえ、文書館事業の改善を後押しするとともに、公文書を含めた地域資料の活用拡大に向けて支援を強化するため、本シンポジウムを開催することになりました。ご参加をお待ちしています。

日時 2009年9月13日(日)13:00~16:45
場所 大阪社会福祉指導センター 研修室2 (中央区中寺1-1-54)
(地下鉄谷町線 谷町六丁目 下車4番出口から徒歩5分)

内容
基調報告 地域資料シンポ実行委員会
メイン講演 小松芳郎さん(松本市文書館)
自治体文書館の責務 公文書と地域資料を視野に
パネルディスカッション
地域の実践報告
高木秀彰さん(寒川町文書館)/谷合佳代子さん(エル・ライブラリー)
質疑 討論
パネラー 小松芳郎さん 高木秀彰さん 谷合佳代子さん 亀岡哲也さん(近江八幡市)コーディネーター 佐賀朝(大阪歴史協会)

資料代:300円(事前申し込み等は不要)

主催 地域資料シンポ実行委員会(構成団体:あおぞら財団、大阪歴史科学協議会、大阪歴史学会、NPO法人西山卯三記念すまいまちづくり文庫、地域資料研究会、歴史資料ネットワーク)*五十音順
後援 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会

お知らせ

エコムーズ活動資金
ハモン基金
寄付協力をお願い
エコムーズを支えてください
あなたの寄付金は青空へつながります。
寄付の方法
郵便局からお振込みいただけます。また、直接エコムーズにお越しいただいても結構です。
【口座】十万円/一万円/千円
【口座番号】
01248931

加入者名)あおぞら財団
通信欄に「ハモン基金の寄付」と記入ください
一口の金額はお選びください
ボランティア隊
あなたも「エコムーズ」募集中
入っちゃおう!資料整理や展示、イベントの手伝いなど活躍の場がいっぱいです。
交通費 実費支給(上限2000円)
どうぞお気軽にお問い合わせください



編集後記

エコムーズは2006年の開館以来、おかげさまで来館者が1200人(のべ)を超えました。最近では大学生や高校生など、自身の研究課題で公害を調べに来るケースが増えつつあります。最近、1960年から70年代のことを落ち着いて研究しようという傾向が出てきたのかも知れない」と小田館長のコメントです。(Y)

資料館だより No.26
2009年9月号(隔月1日発行)

発行所 あおぞら財団付属
西淀川 公害と環境資料館
(エコムーズ)
連絡先 大阪市西淀川区千舟1-1-1
あおぞらビル 5F(〒555-0013)
TEL:06-6475-8885 FAX:06-6478-5885
Email: webmaster@aozora.or.jp
<http://www.aozora.or.jp/shiryou/>

エコムーズは
青空を未来へ手渡す記録のひろば

西淀川の公害 環境、地域に関する記録資料や環境学習の教材・ビデオなどが豊富です。ぜひご利用ください
開館 月曜日、金曜日(祝日は休み)
10:00AM~5:00PM [要予約]
利用 図書貸出し期限は2週間
書庫資料や裁判記録は閲覧のみ